

## 平成30年度 第1回 明和町総合教育会議 議事録

1. 日時 平成30年4月26日(水) 19:30~21:00
2. 場所 明和町役場2F 大会議室
3. 発言者 明和町長 中井幸充  
明和町教育委員 竹本留美子、山路克文、作野郁子、辻美穂、  
田川昌之  
明和町教育長 下村良次  
事務局  
総務課：課長 浅尾恵次  
教育総務課：課長 西尾仁志、係長 荒木隆伯、係 西井直貴  
こども課：課長 下村由美子

### 4. 概要

#### 議題1

#### 明和町小学校区検討委員会について

##### 【事務局】

検討委員会の回数に限りがあり、またタイトなスケジュールとなることから、検討委員会の各回に議論するテーマを決め、検討委員会の前に各委員へテーマを送付し、前もって議題について考えていただき、当日の検討委員会に臨んでいただきたいと考えている。

テーマの候補は別添のとおりとし、この総合教育会議で認めてもらえれば、検討委員会の委員長及び副委員長へテーマを伝え、第2回の検討委員会へ望んでいただく。

##### 【教育委員】

各検討委員である教授へ説明できるように、もう少し各テーマについて肉付けが必要ではないか。

例えば、テーマ1の場合津波浸水区域を避けるとは、具体的にどれほど避けるのか？こういう理由でバイパスより何km南に建てる・・・等。

#### ○テーマ1 防災の観点について

##### 【教育長】

平成25年11月7日の義務教育施設整備検討委員会の答申結果においても、バイパスの南という記載があるので、とりあえずテーマということでこの内容で検討委員会へ望んではどうか。

##### 【教育委員】

バイパスより南というのは、大淀小だけなのか。

##### 【町長】

下御糸小もバイパスより南へ移す。とにかく学校区再編の中で、バイパスより北へ学校を建設することはしない方針である。

【教育委員】

では、行政として大淀小及び下御糸小の2つともバイパスより南ということで検討委員会へお願いするということがよろしいですね。

【教育委員】

お願いすれば、先生方も「あ、そうですか」としか言えなくなるのでは。まずは事実の確認ではなく、全体のビジョン（いつまでにこれだけ完成・・・等）を示し、議論するべきでは。

【教育委員】

まずは明和町の意見（5つのテーマ）を出さないと、もっと具体的な提示案を出さないといけない。

【教育委員】

ではその後も良いので、今日この会議内にて教育委員と行政の意見をまとめた長期的なビジョンを委員長へ掲示してはどうか。

## ○テーマ2 学校規模の観点について

【教育長、事務局】

文部科学省からも、集団教育のための複数学級の必要性に関する基準が出ている。人との関わりが固定されるべきではない。

【教育委員】

人口減と少子化の予測が大切。予測して2クラス編成をしたとした場合の校区シミュレーションはできるのか。

【事務局】

これに関しては、ある程度基本構想にデータがある。これまでの教育委員会や総合教育会議にて3校区案が良いのでは、という話が出ていたはず。

【教育委員】

中学校への入学者数が7年間で1割の減少となっている。今後も減っていくとすれば、3校区案ではなく、2校区案も浮上してくるのでは。せっかく再編が完了しても、また1クラスの数が少なくなってしまう。

例えば、テーマ1の観点からいくと3校区案であるが、テーマ2の観点からすると2校区案という意見の出し方も良いと思われる。

○テーマ3 校区配置の観点について

○テーマ4 編成による統合の観点について

【教育長】

例えば、現在修正小に通っている子が齋宮小や明星小へ行かされる、という感覚にしてしまうのはいけない。全町的に対等な統合が必要である。

【町長】

1クラスで何ができるかを考えた時、ある程度の人数は必要。教育の観点からも、大人数の中に揉まれることは必要と考える。個人的には1クラス20人強～30人が良い。この程度のクラスを1学年で2クラス持ち、これが6学年で1学校に12クラスが理想と考える。

自治会を回っていくと、もし修正小に通う子を齋宮小へ行かせる場合、いじめに合うのでは、などと心配する保護者がいる。教育長が言われたとおり、全町的に対等な統合ということで、新しい建物を建ててそこへ皆一斉に通う、という再編成をしていきたい。

教育委員が先ほど言われたように、それぞれのテーマから何校区案という形式で出てくることも考えられる。

【教育委員】

都市計画（まちづくり構想）から編み出していくのはありではないか。個人的に都市計画からいくと、齋宮小、明星小、多気郡農協本店付近に1つの、3つの学校からなる3校区かなと思う。住民が集まってきているのも、この3つ付近である。

【教育委員】

財政的な括りを考えていく必要がある。トップダウンより、耐用年数や財政状況といった問題を住民に示していけば、多少理解を得られるのでは。また、これが本当の意味でのオール明和ではないか。もっと現実を見て話し合いの時間が必要ではないか。

【教育委員】

今日はどの段階までの議論が必要なのか。それぞれのテーマについて、この点についてはこういう意見が出た、くらいで良いのか。

【事務局】

それで良いです。

【教育長】

これまでの議論してきた中で、先ほどおっしゃっていただいたけれども、町長の考えは教育委員も含めずっと気になっていたところである。総合教育会議

という場を設けたので、このまま皆で様々な議論をして行きましょう。

**【教育委員】**

大淀小がバイパスより南へ移動したときの、今存在するコミュニティはどうなっていくのか。町としては、大淀地区、下御糸地区の今後がどうなっていくのか考えを示していく必要があるのでは。

津波避難タワーを建てただけでは解消されないはず。コミュニティがどうなっていくのか、具体的ではなくても良いので、町長の考えはどうか。

**【町長】**

それは難しい。そこまで行政で示していくのは……。中々前へ進めない。

それぞれの地域の特性はもちろん大切にする。ただ、大淀地区、下御糸地区の今後までは……。新たな施策を考えていく必要がある。例えば大淀には斎王の史跡があるので、斎宮跡・文化観光課で事業を始めている。今後食堂や宿泊施設等も検討課題に入れている。

**【教育委員】**

是非とも廃れていかないよう、町全体で考えていった方が良いと思う。

**【町長】**

昔明和中が建てられる前、この近辺には何も無かったが、今は自然に町の中心として発展している。だから、大淀地区、下御糸地区も行政側で「さあ、発展のためにこうしなさい」ではなく、自治会で自主的に「どうしていくか」と考えを持ってほしいし、コミュニティはそうあるべきだ。

**【教育委員】**

やはり住民が自主的に動いた方が良い。地元の人達が「跡地をこう使っていきたい」という思いを行政側へ提案できる環境が大切。上から「こうしなさい」ではいけないと思う。

**【町長】**

学校が無くなった後は、ある程度は住民で考えていくべき。

**【教育委員】**

住民からと行政側からと、両方の意見があっても良いのでは。

**【教育委員】**

住民のアイデアはあるが、やはりどれだけの財源がある中でできる、できないか等の情報は必要ではないか。「ここまではできる、これはできない」ということを行政側から言うべき。

【町長】

学校の跡地や使わなくなった現校舎についてどう運営していくか、などは地域と合わせていく必要がある。

【教育委員】

小学校はスプリンクラーなど付いているので、少し改造すれば再生可能である。これは行政ではなく、地域が主体的となってやるべき。

【教育委員】

でも平行してこういう使い方はできます、という提案を説明会で行っていくことも必要である。

【町長】

行政側で考えが一つまとまれば、大淀や下御糸地区に限らず、全町的に説明に持っていかないといけない。教育委員が言われた意見もその時出てくるはず。その際、行政の一定の答えを出していくように努力していく必要はある。しかし、それはこの場ではなしに、そういう話を地元から頂く中で検討していくことが重要である。フィードバックを繰り返しながら施策を繰り返していく。「地元がこう思っていないのに行政主導でこうされた」ということが思われるのは絶対にいけない。

【教育委員】

テーマ3とテーマ4について、もっと具体的に言うかどうか。

【教育委員】

ただ単に小さい学校を割って別々の学校へ行かすのではなく、これらの観点からどのようにして新しい校区をつくるか、ということ。

【教育委員】

自治会単位というよりも、人口が集中している地域や過疎化している地域を加味し、どういう分け方を行うのが重要である。自治会単位で分けても絶対に均等に分けることができない。

【教育委員】

2校区案にしたら、スクールバスは必要と考える。3校区案にしたら、制度上史跡から建てられない場所を検討していくこととなる。

【教育委員】

史跡問題はまだ進展は無いのか。

**【町長】**

まだ建てることはできないが、文化庁では学校という施設に対しそこまで縛りをしなくても、という意見はある。

**【教育委員】**

個人的には、しっかりの良いものを厳しい財政の中建てるのであれば、2校区案が良いと思う。

**【教育委員】**

2つの問題が混じっている。「最終校区案をきちっと出す」と「どうやって最終校区案まで持っていくようにするか」のそれぞれで検討が必要。

**【町長】**

3校区案に決まっても、財政的に3校同時には建てられない。総務課で公共施設の耐用年数一覧を出した。その結果からいくと、大淀小は早く移転する必要があるが、それ以外の学校については他の施設を含めて考えていかなければならない。

総括であるが、テーマとしてはこれで良い。

**【教育長】**

第1回目の検討委員会の中で、跡地も考える必要があるとの意見が出た。検討委員会で宿題をもらってきて、また教育委員や町長とも議論し、検討委員会へ提案という流れでも良いのでは。

テーマ5については、もう少し後で議論してもよい。

結局、各自治会へ持っていくのはどこまでの意見を持っていくか、が大切である。そこはしっかりしていないといけない。